

# 議会運営委員会

秋田県、仙台市、宇都宮市を視察

【日程】  
平成22年10月19日～21日

【視察地及び項目】  
議会運営及び議会改革について  
予算・決算特別委員会について  
陳情の取り扱いについて



宇都宮市議会議場にて

## 【主な視察内容】

秋田県は、本市が行っている本会議における質疑は行わず、すべて委員会の審査に委ねている。仙台市においては、すべての定例会で代表質疑を行い、宇都宮市においても、一般質問と共に議案質疑を行うなど、

各市とも審議の効率化を図っている。また、視察したすべての市において、請願と陳情は、受け付けや委員会付託の段階から取り扱いが異なるなど、今後の市川市議会の運営に参考となった。

# 特別委員会

## 東京外郭環状道路特別委員会

国などからの説明に対し各委員が質疑

東京外郭環状道路特別委員会は平成22年8月4日に開催し、国、東日本高速道路株式会社及び県の担当者らを迎え、外環道路に関する審査を行いました。委員会の冒頭で、国土交通省首都圏道路事務所の担当者から、22年6月末現在、市川市内では約97%、千葉県区間全体では約98%の用地取得率となっていることなどについて説明がありました。

その後、各委員が、用地取得の今後の見通し、国道298号の地下化、暫定開通した国道周辺地域での騒音や振動への対策などについて質疑を行いました。質疑に対して、各担当者から、用地取得については、任意取得へ向けての交渉と並行して、土地収用法に基づく事業認定の手続きを進めていること、地下化については現在の用地幅ではできないこと、騒音や振動への対策については、専門家の意見を聞きながら検討している状況であることなどの答弁がなされました。

## 行徳臨海部特別委員会

東浜1丁目地先人工干潟を現地視察

行徳臨海部特別委員会は平成22年7月26日、東浜1丁目地先人工干潟の現地視察を行いました。現地視察では、市の担当者から、東浜1丁目地先の人工干潟は、隣接する船橋市潮見町地先の人工干潟(三番瀬船橋海浜公園)と共に、24年度に千葉県企業庁が造成事業部門を収束するに伴い、それまでに関係機関に移管されることとなっていることなどについて、現地状況を確認しながら説明を受けました。



人工干潟を視察する委員

# 高齢者

## 本市の対応策はどうなっているのか 関係課で連携を図っていく

高齢者所在不明問題

大川正博議員(公明党)

高齢者の所在不明が大きな社会問題になっている。

この背景として、家族や地域関係の希薄化があり、住民基本台帳の管理や社会保障を所管する部署の連携の欠如も浮き彫りになった。同問題に関する本市の現状と対応策を問う。

答 本市の住民基本台帳に登録される100歳以上の高齢者82人全員の所在確認が取れた。現在、75歳以上を対象に後期高齢者医療制度の被保険者証の配達状況で所在確認しており、未確認者は、実態調査を予定している。今後、適正な住民サービスの提供と住民基本台帳記録の正確性の確保のため、関係課で連携を図る。

## 高齢者支援

### 地域に合ったネットワーク必要では より良い地域づくりを努めていく

金子貞作議員(日本共産党)

今、高齢者を一人ぼっちにさせないための具体的な手立てが求められている。市内でも高齢者を支えるために合った見守りネットワーク

め、社会福祉法人やNPO法人等が活動しているが、

答 本市でも、自治会関係者、民生・児童委員等で構成される地域ケア推進ネットワークがボランティア団体等と連携し、地域の課題の解決を目指し始めている。今後は、中野区のネットワーク推進条例等も参考にしながら、更により良い地域づくりに努めていきたい。

## 敬老祝金

### 事業仕分け対象 所管の考えは 継続にも課題 事業仕分けで議論を

竹内清海議員(緑風会)

敬老祝金の対象者数の推移や支給方法はどのようにしているのか。また、事業仕分けの対象になってい

るが、楽しみにしている高齢者も多い。所管としてはどう考えているのか。答 敬老祝金の対象者数は平成12年度が2305人、22年度が4077人と10年間で約1.8倍となっている。敬老祝金は民生委員を通じて毎年9月中旬に対象者に面会して届けており、渡せなかった場合は市の職員が対応している。所管としては今後も継続していきたいと考えているが、高齢者数の増加、財政負担などの課題もあり、事業仕分けの中で議論をお願いしたい。

# 防犯

空き家・廃屋対策

### 今後、指導的部署が必要ではないか 所管の部署と協議していく

秋本のり子議員(社民・市民)

市庁舎等の公共施設での有機リン剤を使用した薬剤散布、小学校での児童によるワックスがけなどの問題

答 平成21年度からは市庁舎全体での薬剤散布は中止し、害虫等が多く発生した場合、スポット的に薬剤散布している。学校でのワックスがけについては、長期休業中に行っていない。また、今後は農薬等の窓口について、所管の部署と協議していく。

### 市全体の問題ととらえるべきでは 関係部署で連携図り検討していく

宮本均議員(公明党)

近年、崩壊の恐れがある空き家が目立つ。行政は、一部署での対応ではなく、市川市全体の問題ととらえ、対策を講じる必要があるの

ではないか。答 空き家、廃屋対策は、防犯や防災など、安心・安全な街づくりの観点から、重大な関心を持って取り組む問題と認識している。今後は、一部署で対策を行う課題ではないので、関係部署と十分に連携を図りながら、市の問題として検討していく。

# 環境

公共施設での薬剤散布